

『スポーツウエルネス学学位プログラム』の目指すもの

本年度より、筑波大学の教育体制が大きく変更されまして、大学院は学位プログラム化されまして、この4月からスポーツウエルネス学学位プログラムがスタートしました。本学位プログラムは、延期されましたが2020 東京オリンピック後の我が国のスポーツとウエルネス（健康）領域の高度人材の育成を目的としています。また、学生の皆様のニーズに応えられるように、修士と博士の2過程を用意しています。これらの課程の教育・研究を通じて、是非皆さんと2020 東京オリパラのレガシーとして、本学位プログラム及びこれまでの多数の卒業生、そして今回入学された皆様と一緒に構築していきたいと考えています。

実は、このレガシーとして重要なのは、国民がスポーツを通じて如何に生活を充実させられるか、スポーツにより地域の活性化にどの程度貢献できるか、そして今後2040 年まで我が国の超高齢化による健康問題から生じる様々な社会課題（医療・介護・社会保障など）を克服するための社会技術を開発できるかが求められるわけですが、本学位プログラムはスポーツと健康が融合されているため、我が国でも最もこの領域に貢献できる体制が組まれています。

このように、今日、健康の価値はますます重要視され、スポーツの有意性が大きく認められており、これらの政策効果を高めるための人材育成は大変重要となります。そのためには、それぞれの課題を解決できる実務的な方策が必要であると同時に、各種経営資源の調達から、その維持・管理・運営、そして新たなビジョンの開発といったプロモーションやマネジメントが適切になされることが重要となります。

本学位プログラムでは、21 世紀における健康に対する新たな認識と、その実質的価値を高めるスポーツを改めて統合し、「人間的生」の充実に向けた問題解決と実社会における具体的目標実現のために、これまで先鋭化・個別化することによって進化してきた学問、また個人に主体を置いた視点と方策によるスポーツ推進等について改めて考え直します。そして、トータルなプロモーション的視点で広域的な組織展開を図るためのシステムを開発し、専門性を有したマネジメントを担当する高度専門職業人としての人材を育成しながら、その課題に対応することを目指しています。

筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群
スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程・後期課程